



YUME いっぱい

よく考える子 しんせつな子 きたえる子

佐世保市立吉井北小学校
学校通信 36号
R04.03.24 (木)
文責 校長 堤 祐子



1年間、晴れやかな笑顔でゴール！

3月24日。本日無事に子供たちが修了式を終え、1年間を終了いたしました。どの子供たちも「やりきった」満足げな顔でしっかり前を見つめ、修了式に臨みました。

修了式では5年生の馬場茜さんが1年間自分の成長を振り返って発表してくれました。

校長講話の中では、1年間それぞれの学年が頑張ったことを次のように紹介して賞賛しました。

【1年生】1年生がスタートした時にはあっちこっち向いてなかなかみんなの視線が揃いませんでした。今では授業中は静かに集中して学習したり、敬語を上手に使うとお話したりできるようになりました。自学も頑張り、宿題は毎日全員出していました。吉井北小の立派な1年生になりました。来年はきっと1年生にやさしくお世話できることでしょう。

【2年生】2年生はあいさつがとても上手で、遠くからでも自分から挨拶をしたり、ワンストップ挨拶をしたり、とても気持ちの良い学年でした。掃除もとても上手でした。けんかもありましたが、ちゃんと仲直りをする力があり一緒に遊べる仲間でした。3年生でも仲良くすなおちゃん、すなお君で頑張ってもらいたいと思います。

【3年生】3年生は家族のように優しく仲が良い学年でした。どんなことがあっても、クラスの仲間で助け合いました。少ない人数ですが、だからこそ得意なことがあります。それはパソコンの能力です、全員毎日健康観察も日記もタブレットに打ち込みます。きっとローマ字うちはどの学年にも負けないほど得意です。

【4年生】4年生は元気いっぱいでした。最初は授業に集中できていない人もいましたが、今では集中して学んでいます。自学をがんばったり、授業中の発表をがんばったりして、ぐんぐん学習力をつけました。アイデアが豊富で自分がしたいことを考えて、自分たちで計画しながら活動できる行動的なクラスになりましたね。5年生では委員会での活躍が楽しみです。

【5年生】やる時はやる、と昨日の大掃除では人が見ていないところでも一生懸命に頑張っていた姿が印象的でした。自学も頑張り全員で50冊、一人平均4冊です。学力も付けました。宿泊学習でたくさん褒められたことや、卒業式までの行事を見事に乗り切った協力する姿、堂々とした姿は今でも忘れられません。5年生はいよいよ6年生です。この6年生なら、きっと本当に心が優しく、本当に心が強い素晴らしい6年生になってくれると信じています。来年度が楽しみです。



私は、五年生になって大切なことを学びました。それは「努力」についてです。昔の私は、運動にしても 勉強にしても できないことがあるとあきらめていました。でも、五年生になってからは、勉強で分からないことやできないことがあると、自分で調べたり復習をしたりしてできるようになりました。運動でも 出来ないことがあると、やっている人を見て研究したり、家で練習をしたりして少しでもできるように頑張りました。その時私は、「努力は絶対自分のためになる。」と思いました。できないからと最初からあきらめては、何の進歩もありません。自分で練習を重ね、できるようになる努力をすることでできるようになり、自分の成長につながることに気がきました。私は四月から六年生になります。六年生になると難しいこともたくさんあるでしょう。しかし、できないことをあきらめず、何にでも積極的に取り組んでいきたいと思っています。 馬場 茜



晴れ晴れしく旅立ちました～6年生の卒業式～



17日、13名の子供たちが無事に卒業していきました。晴れやかな笑顔と共に。

今年度の卒業式も、コロナの影響で残念ながら全校児童ではなく4・5年生の実の在校生の出席。来賓としてお世話になった方々をお迎えできず、PTA会長様と中学校校長先生のみのご案内。歌は6年生の式歌のみで、あとは録音したものを聞くだけでした。それでも、卒業式の醍醐味、「別れの言葉」の呼びかけは、卒業生は勿論、4・5年生在校生の言葉も本当に素晴らしくて、胸を打つものでした。

今年度の6年生は企画力・実行力に長けた素晴らしい6年生でした。自分たちで計画を立ててどんどん進んでいきます。そして、全体で進むときには、進んで自分のできることに参加したり、時に自分の主張を引いてでも協力したり、集団の大切さをよくわかっているチームでした。そんな力で、「あいさつ作戦」や「朝や集団下校前の掃除」「サプライズの会」など次々に成功させていきました。

そんな子供たちにエールとして「ジャパネットたかた」の話をさせていただきました。日本の西の果てにいてもアイデアと努力でチャンスをつかみ、日本を動かす活躍ができるんだよ、と。そしてこの子供たちも自分の力を生かしてどんな場にあっても活躍してほしいと。

心を込めて大掃除！

23日。いよいよ明日で修了式というこの日は、全校で大掃除に取り組みました。どこに行っても自分たちの持ち場や教室を一生懸命に掃除する子供たちの姿に、本校の底力を見たような気がします。このごろ少し掃除に力が入っていない様子でしたので、気になっていたのです。しかし今日は違いました。棚をどけて裏のごみを取り、下足室のすのこをどけてすのこの裏のごみを取り、窓やさんに残ったごみを取り、便器の隅から隅まで磨き上げ、一生懸命夢中になってしかも楽しそうに掃除をしていたのです。「働くことの楽しさ」「人の役に立ってうれしい気持ち」を味わいながら、心豊かに育ってほしいものです。



自学の最終的な記録は**180冊**でした！一人平均**2.5冊**です。最高記録は6年河野実潤さんの**24冊**でした！継続は力なり。頑張ってくださいね！

校長室の窓から⑧ この3年間、本当にお世話になりました。福井洞窟や直谷城という類まれなる資産を持ち、協力的な地域の方々や保護者の方々とそして素直でかわいらしい子供たち。素晴らしい学校でした。一番の思い出は、保護者や地域の皆様と同じ方向を向いて子供たちのことを考えることができたことです。いろんなことも一緒に解決できました。本当に良い学校で去りがたく思います。どうか、これからも本校の応援団としてご支援よろしく願いいたします。子供たちの健やかな成長を、どこにいても、心から、いつまでも思っています。